

MBAC 運営規約

第2版：2023年3月

航空機開発における MBD 技術情報交換会
Model-Based Aviation development Consortium
(MBAC)

MBAC とは

MBAC (Model Based Aviation development Consortium) は、日本の航空機製造業界におけるモデルベースシステムズエンジニアリング (MBSE) とモデルベース開発 (MBD) の推進と、MATLAB/Simulink ベースの設計・開発環境をより発展させるために設立したユーザ会である。航空機開発における効率的な開発環境を構築するために、企業の壁を越えて協調していくことを基本理念とする。

MBAC の運営方法

MBAC の活動は、定期的に行うコア会議及び活動会議 (ワーキンググループ (以下 WG)) によって進める。

また、不定期に全体会議を開催する。

MBAC メンバについて

・ コアメンバ

➤ 資格

航空機開発及び航空機関連装備品の製造に直接的に関係する会社及び研究機関に勤務し、MATLAB プロダクトファミリーユーザであること。

MBAC が運営する活動会議体、会議、イベントに協力できること。

➤ 新規追加方法

STEP1：現コアメンバ若しくは事務局からの推薦、自薦により提案

STEP2：コア会議等で社内での MBSE/MBD の取組などの発表を行い、コアメンバから全会一致の承認を得ること。

➤ 期間

原則として、年度ごとに次年度の継続意志の確認を行うものとする。

➤ 脱退

継続が困難になった場合は、交代要員を立てるなどの調整を行い、MBAC の活動が阻害されないように努めること。

・ コンソーシアムメンバ

➤ 資格

コアメンバに同じ。(但し、MATLAB プロダクトファミリーユーザの是非は問わない)

➤ 新規追加方法

STEP1：運営規約に合意のうえ、活動会議体への参加を申請する。

STEP2：コンソーシアムメンバからの反対がないこと。

➤ 期間

各活動会議体に参加し、MBAC としての貢献を続ける間。

➤ 脱退

継続が困難になった場合は、事務局に連絡のうえ、本人の意志により脱退できる。

・ 事務局

MathWorks Japan は事務局として、MBAC 運営サポートを行う。

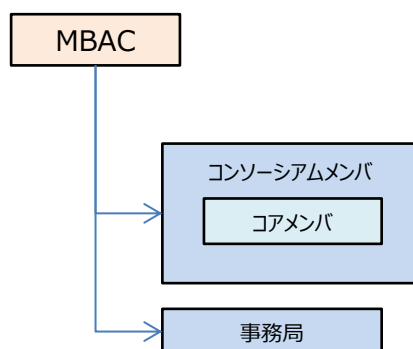


図 1 運営体制

MBAC が運営する会議について

- ・ コア会議
 1. MBAC の運営、発展のために必要な、計画・活動案の策定、議題の選定などの決議、採択を行う会議とする。また WG の成果の承認を行う。
 2. 必要に応じてコアメンバの要請により、2～3 ヶ月に 1 回開催する。
 3. コアメンバ、WG リーダー、事務局が参加する。
 4. 参加メンバからの要請・承認により、上記以外のメンバの参加が可能である。

- ・ 全体会議
 1. コア会議の協議結果、WG の成果等をコンソーシアムメンバに周知・共有する会議とする。
 2. 年 1 回 または、必要に応じて不定期開催する。
 3. コンソーシアムメンバ、事務局が参加する。
 4. 参加メンバからの要請・承認により、上記以外のメンバの参加が可能である。
 5. 毎年 3 月を基準に開催し、当年度の WG 成果の共有、次年度の WG 活動テーマの策定、メンバ募集を実施する。

- ・ WG 会議
 1. 航空機開発に対し、MBSE/MBD を活用していくうえでの会社をまたがる課題について、対策を検討する会議とする。
 2. 月に 1 回程度開催する。
 3. WG テーマごとに課題を共有する会社からメンバを選抜して開催する。
 4. WG テーマごとに WG リーダーを選抜する。
 5. 参加メンバからの要請・承認により、上記以外のメンバの参加が可能である。

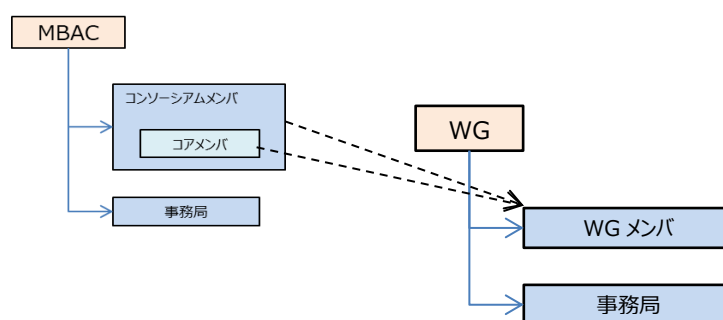


図 2 WG 実施体制の構築

会議運営について

1. 会場の手配については、参加するメンバの会社リソースを可能な限り利用する。これが困難である場合等、事務局に相談・依頼する。
2. 会議に参加するメンバは、会議運営・進行に積極的に関与し、円滑な運営に協力すること。
3. 事務局は、可能な範囲で会議運営に協力すること。また MATLAB ファミリ製品に関する情報提供を行うこと。

表 1 会議の開催条件等

	全体会議	コア会議	WG
参加資格	コンソーシアムメンバ	コアメンバ WG リーダー	コンソーシアムメンバのうち、選抜されたもの
参加企業	—	3 社以上	3 社以上
活動期間	—	—	1 年
成果物	—	—	成果物を作成する
開始・終了・承認・報告	—	—	成果はコア会議の承認を得ることにより、公認成果物とする。 全体会議で成果をメンバに共有する。

資料

1. MBAC のテンプレートを用いた資料を作成できる。
2. MBAC のテンプレートを使用する場合、各社の機密マークの使用はできない。
3. 会議で使用した資料は、コンソーシアムメンバの会社内においてのみ閲覧することができる。内容を改変しない再利用は行うことができる。
4. 会社機密の情報は MBAC では扱わない。
5. MBAC 作成資料は、メンバ専用 Web サイト等にて共有する。
6. 各 WG の成果物は、コアメンバの承認を得て一般公開用 Web サイトに公開する。